

おおさき 議会だより



農地中間管理機構関連農地整備事業(益丸地区)本格着工

9月定例会

こんなこと決めました

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| ● 令和6年度補正予算…………… 2 | ● インタビュー (ピックアップおおさき) …………… 13 |
| ● 町政を問う(一般質問)……… 4 | ● 子どもたちと議員と語る会 …………… 16 |
| | ● 町民の広場・編集後記…………… 18 |

町内3カ所にごみステーション設置

9月議会では、補正予算案や条例の制定を審議し、いずれの議案も可決しました。

| 補正予算の変更額 | | |
|------------|------------------|-------------------|
| | 増 減 | 合 計 |
| 一 般 会 計 | 5 億 6,322 万 5 千円 | 130 億 5,228 万円 |
| 介護保険事業特別会計 | 48 万円 | 19 億 7,067 万 7 千円 |
| 水道事業会計 | 24 万円 | 2 億 1,955 万 5 千円 |
| 公共下水道事業会計 | 6 万円 | 2 億 4,835 万円 |

水道・下水道事業に対して表示は収益的収入の予算に対しての表示

管理はシルバー人材センターに委託

リサイクルごみステーションは3地区に設置予定で、搬出日は、大崎地区が毎週、日・水曜日。野方地区が毎週、日・月曜日。菱田地区が毎週、月曜日から土曜日の予定。

302万5千円

質問

菱田地区はなぜ日曜日の設定がないのか。また委託先をシルバー人材センターとした理由は。

答弁

菱田地区は臨時的に開始しており、月曜日から土曜日で搬出日が浸透していると認識していたため、改めて協議する。シルバー人材センターと雇用契約を交わしていることから委託先とした。



リサイクルごみステーション（菱田地区）

中学校校舎屋上防水工事

経年劣化による雨漏りが多発している校舎の防水改修工事で、前は平成21年に防水工事をしている。

1,600万円

質問

防水工事の保証期間は何年か。

答弁

保証期間は10年である。管理棟は別棟であり修繕で対応可能である。

空き家等リフォームに補助金増額

大崎町内にある空き家を利活用するために修繕等を行った場合、改修に要した経費の一部を補助。

250万円

質問

子育て世帯がリフォームした場合、子育て世帯加算金などの増額補助はできないか。

答弁

子育て政策や住宅取得政策については、検討の余地があり今後の課題としたい。



リフォームが待たれる空き家

子牛1頭に最大3万円

肉用牛生産基盤の安定をはかることを目的とし、大崎町子牛セリ市平均価格が国の保証基準価格を下回った場合に3万円を上限とし差額を補助する。

6,000万円

質問

平均価格が基準価格を下回った月は、平均価格以上で子牛が売れた農家にも補助が出るのか。

答弁

平均価格が基準価格を下回った月に販売された子牛全頭に補助が出る。



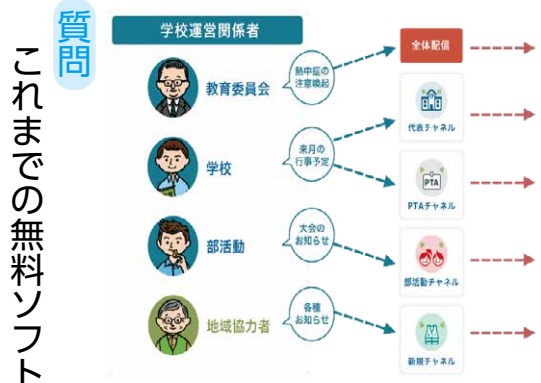
子牛セリ市場

学校からの連絡ツールを一新
学校から保護者への
連絡ツールの導入。



100万1千円

質問



答弁

これまでの無料ソフトとの違いは。セキュリティを含め、強固なシステムであり自動翻訳機能も備わっており、外国籍の保護者へも対応している。また、教育委員会から直接保護者へ連絡することもでき、利便性の向上がはかれる。

中央分団詰所災害復旧
工事

8月8日の日向灘地震により被災した中央分団敷地の舗装部分とブロック塀の災害復旧工事である。

750万円

質問

当該敷地は、地盤が軟弱で津波被害も想定されるため、移転を検討するべきではないか。

答弁

非常に重要な施設である。今後、移設に向けて関係機関と協議しながら検討していく。



災害状況（中央分団詰所駐車場）

空き家解体に補助金

空き家除却を行う所有者等に対し、除却費用の一部を補助する事業。

426万3千円

質問

公共下水道区域であれば最大50万円、それ以外の区域は最大25万円であるが、町内一律の補助ができないか。また、除却費も高騰しているため増額できないか。

答弁

町としては人口を少しでも集約したい。土地の流動化を進めて人が定住してほしいことから25万円の格差を設けている。増額については今後考えた

- * 大崎町職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定
- * 介護保険事業特別会計補正予算
- * 公共下水道事業会計補正予算
- * 水道事業会計補正予算を審議

一般質問

8議員が登壇

町政を問う

くさ はら まさ かず
草原正和 議員

- ・大崎町における子どものスポーツ支援について
- ・大崎中学校の変化について
- ・地震災害への対応と今後の課題について



P 5

よし はら のぶ お
吉原信雄 議員

- ・大崎町中央運動公園の整備について
- ・紙おむつの購入支援について



P 6

なか やま み ゆき
中山美幸 議員

- ・奨学金制度について
- ・日向灘を震源とする地震について



P 7

いな だめ みつ はる
稲留光晴 議員

- ・地震災害について
- ・台風10号被害状況について
- ・熱中症被害について



P 8

こ だま たか のり
児玉孝徳 議員

- ・防災行政について
- ・ジャンボタニシの食害やイヌマキの害虫について
- ・隣地の竹木の枝が境界を越えた場合の対応について



P 9

おか もと しゅう いち
岡元修一 議員

- ・地域活性化とふるさとまつりの意義と課題
- ・免許自主返納後の生活支援とシニアカーの役割



P 10

わし とう しん いち
鷺東慎一 議員

- ・リサイクルシステムの町民負担に対する軽減対策の進捗状況について
- ・防災減災について



P 11

ふじ た か すみ
藤田香澄 議員

- ・児童虐待の発生状況と支援体制について
- ・早期療育の重要性と支援体制について



P 12

一般質問とは

町長などの執行機関に対し、業務の執行状況や将来の方針などについて議員個人として政策論争を行うものです。

二次元コード*をスマホ等で読み込むと各議員の一般質問を視聴できます。

*バーコードを拡張するために開発された二次元コードは、端末を使って簡単にコードを読み取ることができます。

問い合わせ先：大崎町議会事務局 TEL 099-476-1111 (内線 310・311)

子どものスポーツ支援を

支援体制を構築すべき



草原 正和 議員

等、施設の充実化をはかり、本町で子育てをするメリットをつくれぬか。

総合的に進める

問 本町におけるスポーツイベント、各種大会や催し物支援について示せ。

支援すべきと認識

答 町長 スポーツの活性化や地域経済への波及効果は大きなものがあり、今後構築していく。

施設の充実化をはかれ

問 グラウンドやビーチスポーツ場にナイター照明、ソフトボールや野球の屋内練習場・各小学校の体育館にエアコン設置

等、施設の充実化をはかり、本町で子育てをするメリットをつくれぬか。

答 町長 ビーチスポーツ専用競技場のナイター施設もひとつの案である。

各小学校体育館のエアコン設置については、早期に実現できるように計画的に進めていく。

活動を支援すべき

問 スポーツ少年団や部活動等の運営支援をすべきではないか。

調査・研究し検討する

答 町長 スポーツ少年団等の運営費については少子化の影響もあり非常に厳しい状況にあることは認識している。何らか

の形で支援体制を構築すべきであると考える。



地元企業と大崎町支援のもと開催されたラグビー大会

合意形成をはかれ

問 大崎中学校の二学期制や行事等の内容変更や削減について、児童生徒や保護者と合意形成をはかり運営していくべきではないか。

裁量権は校長にある

答 教育長 学校の運営権や裁量権は校長にある。しかしながら、児童生徒や保護者、PTA、地域の声を聞く場を設け管理職研修会等で指導・助言していく。

巨大地震への課題は

問 今回の地震で浮き彫りとなった課題を示せ。

災害に強いまちづくり

答 町長 地盤の軟弱地域、水道管の老朽化、空き家や耐震未対応家屋、避難行動等より災害に強いまちづくりに取り組んでいかなければならない。

防災庁舎や組織の拡充を

問 情報収集や迅速な対応のための防災庁舎の新設や対応組織の拡充をはかれ。

消防団詰所移転を優先

答 町長 防災センターの必要性は十分認識しているが、中央分団の消防詰所の移転を優先的に進めていく。



被災した大崎町消防団中央分団詰所（標高 8 m）



紙おむつと専用袋の 無償化はできないか

実施の方向で考える



吉原 信雄 議員

問 紙おむつ購入負担などを考える子育て支援や購入者支援のための紙おむつ専用袋の無償化はできないか。

実施の方向で考える

答 町長 紙おむつを使用する世帯に関しては、子育て世帯や何らかの支援が必要な場合があり、無償化については状況を整えたうえで、実施の方向で考える。

証も行いながら検討していく。

支給額・支給対象者の見直しはできないか

問 紙おむつ等の支給については、大崎町介護用品給付事業実施要綱では、対象者が要介護4又は5の認定を受けた在宅高齢者と重度障害者の常時失禁状態にある者であるが、対象者の範囲を要介護1以上とすることはできないか。また、支給額についても見直しはできないか。



無償化を求める専用袋

必要な時期には見直しができるよう検討する

答 町長 支給対象者の見直しについては、ケアマネジャー等の専門職の意見を聞きながら、また購入費の支給補助については、利用者の声や価格等の推移を見ながら、必要な時期には見直しができるよう検討していきたい。

現在の利用状況を示せ

問 中央運動公園の現在の利用状況は。

コロナ禍前の状況に戻りつつある

答 町長 令和5年度の利用実績は208回で、延べ9890人の方に利用していただいているが、これは申請に基づくもので、家族の方にも自由に利用していただいている。利用者については、サッカーが最も多く、ラグビーフットボール、分館行事、遠足等に幅広く利用いただいております。コロナ禍前の状況に戻りつつある。

利用期間を設けての芝管理に努めている

答 町長 大会後のグラウンドの状況や芝の生育状況によっては、ローテーションでの使用をお願いしたり、利用期間を設けて管理に努めている。

人工芝への考えは

問 グラウンドの人工芝への整備の考えはないか

総合的に整備する

答 町長 スポーツ観光大崎が法人化され合宿誘致が本格化され、合宿者からの人工芝への要望やこれまでの利用団体からの要望も勘案し、利用者のニーズに応えるよう人工芝への整備等も含め、総合的に検討する。

グラウンドの状況についての認識は

問 以前、スポーツ競技後は芝の状態を見ながら、使用場所のローテーションが必要だと答弁されたが、今でも変わらないか。

答 町長 令和4年度より町独自に出産祝い金として現金10万円を支給しており、今後新たに出産祝い金とは別に紙おむつ購入支援の実施については、10万円支給の効果検証

10万円支給の効果検証を行いながら検討する

紙おむつの購入支援はできないか

活用しやすい奨学金制度を望む

制度の改善と周知に努める



中山 美幸 議員

問 奨学金制度の目的は条例に書いてあるが、町長の考える目的、効果について示せ。

ふるさとの活性化を担う人材を育成する

答 町長 本町で育った子どもたちが能力があるにもかかわらず経済的理由により、学ぶことができない就学困難者を予算の範囲で支援し、再び大崎町に住み、本町の活性化を担う人材を育てる目的の制度である。

周知、広報は十分か

問 主な対象者は、中学3年生、高校3年生である。近隣の高校の校長、進路指導の先生方に、奨学金に対するアンケート調査をお願いした。対象保護者、対象者に対する制度の広報、内容の説明が不十分であると思われる。しっかりと説明すべきだと思いがどうか。

文書配布で対応しているが周知態勢を整える

答 教育委員会管理課長 4月に集落発送の一枚紙の班回覧でお知らせしている。リサイクル奨学金制度は説明会の日時を示した文書を、各高校に本町在住の生徒へ配布をお願いしている。

答 町長 制度の打ち合わせでは高校に行つて説明することになっている。利用者が少ないことは、思いが叶っていない。子どもたちが学ぶ環境をつくることに必要であり、良く周知できるように話し合う。

予約申し込み制度を構築すべきではないか

問 本町の申し込みの期限は4月3日から5月8日までとなっている。アンケートによると、もう少し延長してほしいとのこと。また、学生支援機構などは予約制度をとっている。入学金や居住費などを考えると、早期に予算のめどが立つほうが安心できるのではないか。

今後検討する

答 町長 単年度制度とちがいで継続制度であることから周知や予約制度も検討する。

審査基準をゆるやかにできないか

問 令和5年度のリサイクル奨学金審査通過1名不採択10名とのことだが、医学部を目指せるような優秀な成績や意欲十分な子どもが、経済状況や家庭環境により、審査が通らなかつたなどの話も聞く。ふるさと納税などを使得、改善策を講じるべきではないか。

経済状況に応じた支援策を検討する

答 町長 貧困世帯、低所得世帯など、子どもも家庭庁ができたことなど、前述のような家庭を支援していく、学ぶ意欲があり優秀な子どもたちを支援することは必要である。指摘のあった奨学金の貸与の方法、給付の在り方等については十分に検討確認し、学びの場が与えられるよう努力する。

日向灘地震の農地被害対策を講じるべき

問 住宅、道路などに対する被害対策は前段で議員が質問したが、農地(水田)にも、亀裂や液状化が発生している。現状復帰対策を示せ。



大きな亀裂の入った水田

客土などの現物支給を考えている

答 町長 農業収入には影響なかつたと考える。亀裂などの被害に対しては工事などの残土を提供し対応する。

南海トラフ巨大地震への備えは

地震に耐えうる対応が必要



稲留 光晴 議員

や社会福祉協議会から見舞金を支給する。

民有地の漏水被害は個人負担か

本町でできる被災者への支援策は

問 民有地内外のブロック塀などの倒壊や倒木など、どこまで支援できるか。

民有地は個人負担で処理してもらう

問 震度5強の地震の教訓として軟弱地盤である三文字地区の南海トラフ巨大地震への備えをどう考えるか。

各々の対応が重要

答 町長 かねてからの備えが大事であり、三文字地区においても大きな建物については、しっかりとした基礎を建てながら災害を受けていない状況である。建物などの、地震に耐えうる対応はそれぞれがやるべきものである。



道路へ倒壊したブロック

民有地は個人負担

答 水道課長 個人の漏水については給水指定を受けた工事店を案内している。本管の通っている道路については、町が補修する。

答 町長 道路敷地内に倒れたもののみ町が撤去するが、民有地については個人負担となる。また被災された方に対して町

台風10号の被害状況は

問 農作物および施設や人的被害状況を示せ。

農作物で面積8.6ha 被害額364万3000円

答 町長 倒木被害や農作物の一部被害はあったが人的被害など甚大な被害は発生していない。

農作物の被害状況

| | |
|------|-----------|
| 被害面積 | 8.6ha |
| 被害額 | 364万3000円 |
| 内訳 | |
| 早期水稲 | 5ha |
| 大根 | 2ha |
| キャベツ | 1ha |
| ネギ | 0.3ha |
| ニガウリ | 0.3ha |

(行政データを基に本人作成)

搬送者は24名が大崎町民

答 町長 大隅曾於地区消防組合によると9月2日時点で136名であり、うち24名が大崎町民である。

熱中症発生状況

| 発生場所 | | 年齢区分 | 搬送人数 |
|------------|-----|---------|------|
| 敷地内含む住宅 | 16名 | 7歳～17歳 | 3名 |
| 仕事場 | 3名 | 18歳～64歳 | 5名 |
| 公衆が出入りする場所 | 1名 | 65歳以上 | 16名 |
| 道路 | 4名 | 性別 | |
| | | 男性 | 14名 |
| | | 女性 | 10名 |

(行政データを基に本人作成)

問 熱帯夜が年々長引いている。救急搬送された方の状況はどうか。

熱中症による緊急搬送の状況報告を求める

特別警報級の災害対策は

防災センター機能を充実



児玉 孝徳 議員

問 温暖化により甚大な被害をもたらす災害が多発しているが、南海トラフ臨時情報や特別警報級の災害対策を示せ。

防災センター機能を充実

答 町長 防災拠点整備施設を始め、災害時要支援者や在在外国人の支援対策に努め、中央分団詰所の移転対策と併せ防災センター機能も充実していく。

高台などへの避難表示は

問 災害が起きた場合の避難経路はどのように設定されているか。また誘導の表示を示せ。

住民の意見を踏まえ協議

答 町長 津波等が発生したら迅速かつ適切に避難できるよう、案内看板の設置は地域住民の意見も踏まえ協議していく。



研修視察した東串良町防災センター

避難誘導灯の設置計画は

問 夜間に災害が起きた場合、安全に避難するには停電補償付きの避難誘導灯が必要だと思いが、設置は検討したか。

町と地域で協議し取り組む

答 町長 地域防災計画策定支援事業で町と地域が連携しながら災害発生時の自主防災意識の高揚をはかり、避難誘導灯や避難タワーの有効性や設置場所等を協議し取り組みを進めていく。

避難所のプライバシー確保の設備を

問 避難所の備品は長期避難に備え、プライバシーが保てるパーテーションやプライベートテント、着替用テント、段ボールベッドなどが必要ではないか。

計画的に導入する

答 町長 避難所では自分のスペースを確保し安心して過ごせる環境が重要だが十分な数を確保できていない。その他の備蓄品と合わせ計画的に導入・更新するよう努力する。



プライバシーに配慮した避難所
※写真はイメージです。

害虫の薬剤散布に助成を

問 イヌマキに発生する害虫や、稲の苗を食い荒らすジャンボタニシの薬剤散布に助成はできないか。

助成の考えはない

答 町長 ホームページや集落発送の回覧等で駆除方法や薬剤について周知して助成は考えていない。ジャンボタニシの薬剤助成は、水系を共有する近隣市町と協議し国・県へも駆除・防除に対する支援を要望する。

越境枝の取り組みは

問 隣地の枝が境界を越えた場合、民法改正の新ルールの周知はされているか。相談があった場合の取り組みの対応を示せ。

通行に支障の場合は伐採

答 町長 道路で通行に支障となる場合は所有者と話し、伐採を行うなどの対応を行っている。今後、民地での相談があった場合は、改正内容をわかりやすく説明していく。

※停電や事故で、電源電圧が遮断された状態でも動作できる機能のこと

祭りが果たす地域創生は

地元愛と魅力の発信につながる

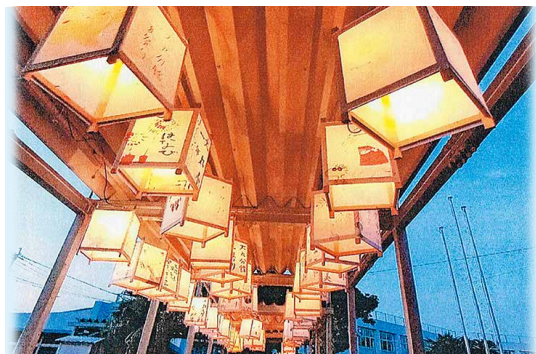


岡元 修一 議員

問 地域創生の課題克服としてふるさと祭りの果たす意義と効果は。

効果が大きいと認識

答 町長 祭りは、地域の魅力を発信し、共同作業から生まれる連帯感を育み特産品の販売促進も行なえる。これらにより地域全体の活力を向上させた社会的効果が期待できる。



全児童作成の灯ろう絵 (大丸夏祭り)



子ども会主体の地域おこし (中沖夏祭り)

小規模祭りへの支援をどう行うか

問 運営には会員の固定化や資金の調達に苦慮している現状がある。特に、町からの補助金を直接受けられない小規模な祭りは深刻ではないか。

手法や経済的側面からも考慮する

答 町長 規模の大小に関わらず、ふるさと祭りが果たす役割や重要性は十分認識している。

タクシーチケット無料配布の現状は

問 予算に対する申請人数や利用目的はどのようになっているか。

申請人数は367名

答 町長 予算400名に対して367名。利用先は町内が80・9%。目的は買い物、通院、趣味等の順となっている。

シニアカーに期待する役割は

問 徒歩可能な距離から先とタクシー利用を必要とする距離との間を埋める方法になるがどう考えるか。

移動手段として有効

答 町長 長距離を歩けなくなったたり免許返納された方にとって助けとなり得る。



移動手段となるシニアカー

福祉車両の情報窓口になれないか

問 車両が不要になり売

りたい人と新たに買いたい人を繋げられないか。

社会福祉協議会と協議

答 町長 民生委員などを通じて実態調査した上で検討する。

購入助成の考えはないか

問 近隣市町では購入支援の動きがある。自立した生きがいづくりへの対応の面からも考慮すべきではないか。

現時点での助成は考えていない

答 町長 移動手段の問題は、今後も検討が必要であるが、まずは事故リスク回避を考えるべきである。

※免許を必要とせず歩行者と同じ右側通行。歩道は左右に関係なく通行できる。最高時速は6キロメートルで大人の早歩き程度。1回の充電で距離として30キロメートル走行できる車種もある。

リサイクルの負担軽減策は

ごみステーション設置で対応



鷲東 慎一 議員

問 民間企業のリサイクル常設回収所が設置されているが、本町のリサイクル負担軽減対策として、常設ごみ回収所の設置、相互信用金庫マルおおさきの進捗状況を示せ。

3カ所のごみステーションを設置

答 **町長** 社会変化や男女共同参画の進展で、ごみステーションの開設が必要とされ、3カ所大崎・菱田・野方の新設に取り組む。



菱田地区以外は11月以降開始予定

| | |
|-------------|---------------------------------|
| 菱田地区 | 月曜日～土曜日 8時～17時 そりサイクルセンター敷地内 |
| 野方地区 | 日曜日と月曜日 9時～15時 野方支所 敷地内車庫 |
| 大崎地区 | 日曜日と水曜日 9時～15時 旧三文字駅 町有地 |

※事前に役場の搬入許可書が必要

問 工事は完成しているようだが、今後の活用と方向性を示せ。

マルおおさきの方向性は

問 毎日も捨てられない生ごみ、週末や連休が入れば自宅に保管しなければ

生ごみを毎日出せるようできないか



答 **町長** マルおおさきの利用は進んでおらず、信頼を欠く事例等があった。住民がごみを持参し、リサイクルの仕組みや役割を学べる拠点を目指していたが、私の思いは、学びの教育環境の整備を行いたいと考えている。

学びの教育環境を整備

ならない。各集積所にいつでも出せる処理機等を設置し、町民への負担のない仕組みを作れないか。

のごみ問題にも関心を持つ機会が生まれると考える。また、全国独自のルールで競技会が行われており、本町はリサイクル率日本一を15回達成しているため、独自ルールでの実施を検討していきたい。

答 **町長** コンポスト化は家庭で利用することが理想的であり、最近は改良され使いやすく低価格で利用できる。これらの方法も考慮し、さまざまに取り組みを進めたい。

スポーツゴミ拾いの推進はできないか

問 スポーツで町をきれいにする取り組み、SPORTS GOMIや本町独自のスポーツとゴミを掛け合わせた運動への展開を考慮すべきではないか。

本町独自のルールを検討

答 **町長** スポGOMIは、ごみ拾いを競技化し、ごみ問題を身近に感じる日本発祥のスポーツで、地域だけでなく世界

災害時の避難道の現況と課題を示せ

問 災害時の避難道路は地域計画で国・県道及び1級町道13路線を指定しているが、里道等の現況と課題の認識を示せ。

設備の導入を拡大

答 **建設課長** 地方分権一括法により、町内約5700路線を国から譲与され、年度から町長より狭い道路(生活道路として使用している部分も)生コン・砕石支給が必要で、広げて支給している。

児童虐待に対して適切な対応を

情報共有など連携をはかりたい



藤田 香澄 議員

問 今年度確認されている、児童虐待報告はどこから受けているか。

答 保健福祉課長 学校や保育施設からの情報をもとに、児童相談所から情報提供を受けている。

問 児童虐待に対する協議はどうなっているか

答 児童虐待について協議をする要保護児童対策地域協議会はどのように機能しているのか。また

報告後の対応は

問 児童虐待の可能性に関する報告はさまざまなおおさきからくるものが予想されるが、課の中で情報共有がはかれているか。

答 連携不足を改善したい

問 保健福祉課長 障害福祉係と健康増進係にける情報の横の連携が少し足りないと感じたため、改善をしたい。

育児負担軽減のための施策を示せ

問 子育て短期支援事業（ショートステイ）の利用状況と今後の必要性についてどう考えるか。

答 必要な事業である

問 保健福祉課長 4事業所（鹿屋に2箇所、曾於市に1箇所、始良市に1箇所）と契約している。
町長 令和4年度までに1家族が年2回から3回

利用した実績がある。育児疲れの負担軽減や、一時的に子どもを守るために必要な事業であると認識している。

早期療育に向けた取り組みは

問 早期療育にもつながらる巡回療育訪問事業の実施回数と内容は。

答 療育機関が保育施設を訪問している

問 保健福祉課長 町内7つの園を月1回1園ずつ、療育機関の担当者が訪問をし、特性に応じた支援方法など助言をしている。必要に応じて、発達検査のできる専門の医療機関や療育機関等の紹介もしている。

町としての課題は何か

問 早期療育になかなか繋がらない課題をどのように認識しているか。

療育につながるまでに時間がかかる

問 町長 支援を受けるのに必要な療育計画作成が相談支援事業者不足のため、最長4カ月要するなどがあると認識している。関係機関と連携しながら善処したい。



運動療育システム

気になるあの人に聞いてみました！



九州プロキックボクシングフェザー級 チャンピオン瀬戸口礼さんに聞きました

グローブに かけた人生は



九州プロキックボクシング
フェザー級チャンピオン
瀬戸口礼さん
(三文字出身、薩摩ジム所属)



おかもと 岡元 修一
広報広聴常任委員会
副委員長

キックボクシングの魅力をもっと多くの方に伝えたい

岡元議員

キックボクシングを始められたきっかけをお聞かせください。

瀬戸口さん

小学校2年生のときに、父親の知人からキックボクシングの先生を紹介してもらい、指導を受けていました。

その後、その先生が鹿屋市串良町で薩摩ジムを設立し、小学校6年生から、そのジムに所属し本格的にキックボクシングを始めました。

岡元議員

キックボクシングの魅力とはどのようなものですか。

瀬戸口さん

父親から一つのことを継続して頑張れない者は、何をやっても頑張れないということを教わってきました。キックボクシングを、小学

校2年生から現在に至るまで継続して頑張ったなかで、自分に合っていた部分があり、魅力を実感するようになりました。

減量やさまざまな苦しいトレーニングを経て、試合当日のリング上の恐怖とも戦いながら、相手に勝利したときはうれしさで心が震えます。そういういったことすべてを踏まえて、試合で勝利したときの喜びは言葉で表現することができないくらい感動します。

岡元議員

次への目標は何ですか。

瀬戸口さん

九州チャンピオンになることを目標にトレーニングに挑んできました。その目標を達成し、現在、25歳になりましたが、今度は30歳になったときの自分を見据えて、九州に留まらず、関東の有名どころで試合をしたいという目標があります。

キックボクシングをやってきて良かったなと思えるよ

う、そして将来さらにより良い景色を見るため、今を懸命に頑張りたいと思います。

岡元議員

経験を将来、どう生かしますか。

瀬戸口さん

将来的には、キックボクシングで大崎町の青少年育成に携わりたいという思いがあります。若い方が地元に戻って来ることが少なくなっていますが、生まれ育った故郷のためにキックボクシングの持つ魅力を多くの方に伝え、町に少しでも貢献できればと考えています。

◆薩摩ジム会員募集中



総務厚生常任委員会

6月26日(水)

閉会中の町内事務調査において、次の施設工事等の5件を調査しました。

防火水槽新設工事



722万7千円
(神領地区)

652万3千円
(野方地区)

町道に敷設している水道管の直径が40ミリメートルで、貯水槽までの引き込み管の直径が25ミリメートルということだが、今後、防火水槽を新設する際は、本管の40ミリメートルと同じ程度の直径にできないか、検討するよう要望しました。

ガードレールが未設置の箇所は、道路幅員が狭くなっているが、今後、ガードレールを設置するようなことがある場合は、自動車等の離合も考慮し、最善の工法で実施するよう要望しました。

交通安全施設工事



300万円

中央分団 水槽付き消防ポンプ自動車



4,576万円

今回導入された車両は二輪駆動であるが、地域や消火活動の現場によっては、四輪駆動が必要な場合も想定されるため、今後導入する場合は、駆動方式等についても検討するよう要望しました。

携帯型デジタル簡易無線機の備品で、耳かけ型イヤホンマイクも40個購入しているが、実際の火災現場では、活動に支障をきたすという理由で、使用していない団員もいると聞いており、今後は、そういった実情も考慮しながら、購入を検討するよう要望しました。

消防用デジタル簡易無線機



407万円

- ・大崎町保健センター屋上防水修繕 (880万円)

文教経済常任委員会

6月26日(水)

閉会中の町内事務調査において、次の施設工事等の6件を調査しました。

農業機械センター改修工事



4,499万5千円

公社の保有する農業機械作業後のメンテナンスについて、整備及び清掃を徹底し、農業機械の整備不良防止に努めるよう要望しました。

また、新規就農者の確保、育成、定着支援については、公社においても新規就農者をサポートする体制づくりを充実させ支援を強化されるよう要望しました。(総務厚生常任委員会との合同調査)

大崎小学校及び持留小学校の既設遊具の撤去及び遊具の新設工事を行ったものです。
小学校における遊具事故防止のため、落下防止対策、塗装工事等の措置を講じるよう要望しました。



大崎小学校・持留小学校遊具新設工事

237万3千円

西三文字マンホールポンプ場 制御盤耐水化移設工事



1,353万円

西三文字マンホールポンプ場の大規模降雨時における制御盤浸水対策として耐水化移設工事を行ったものです。

大規模降雨時の浸水深を地域住民に周知するため、現地に浸水表示板の設置を行うよう要望しました。

くいの松原キャンプ場に、木造平屋建て45平方メートルのバンガロー1棟を建設したものです。昨年、総務厚生常任委員会との合同調査で指摘した、猫の飼養、衛生管理の改善については、引き続き対策を徹底されるよう、委員会のまとめのなかで意見が出されました。



くいの松原キャンプ場 バンガロー4号棟建設工事

1,940万4千円

- ・西三文字マンホールポンプ 取替工事 (487万円)
- ・菱田小学校屋内運動場等大規模改造工事 (1億5,125万円)

子どもたちと議員と語る会

8月5日、大崎町議会議場で、子ども議会(子どもたちと議員と語る会)を開催しました。小学生16人の議員から、町政全般に関わることについて、活発な質問が行われました。

大崎町議会では、年代を問わず多様な意見をお聞きするため、「議員と語る会」を実施しています。今回は本町の未来を創り支えていく子どもたちの率直な思いをお聞きしました。今後の本町政策に活かしていけるよう努めてまいります。

議会報告会実行委員会 委員長 中倉広文



子ども議会の内容は上記の二次元コードより視聴できます。



さくら
遠矢 咲良 議員

大崎町は少し田舎なので、大きな店を建ててほしいです。
大崎小学校で冬はカイロの持ち込みを可能にしてほしいです。



かな
山田 佳奈 議員

益丸プールの件ですが、暑いのでプールサイドにひさしを作ってほしいです。



あおい
有村 葵依 議員

中央公園に遊具を作ってください。映画館を建ててほしいです。



あさひ
吉崎 朝陽 議員

アスリートトレーニングセンターの近くにある宿泊施設の売上はどこに流れているんですか。あすばる温泉の露天風呂はいつ直しますか。
大崎町に遊園地とかを作らないと、人口が減って大崎町がなくなっちゃうんじゃないですか。



たくま
古屋敷 拓真 議員

あすばる公園の鯉をもうちょっと増やしてください。
益丸プール近くにある公園遊具をもっと増やしてほしいです。



そうま
吉原 蒼聖 議員

学校に、エレベーターをつけてほしいです。



ゆいのん
前田 結音 議員

お祭りをもっと増やしてほしいです。



あかり
末吉 朱莉 議員

大崎町に遊べる施設を増やしてほしいです。

子ども議会 43名参加



今村 由依 議員

益丸プールの工事はいつするんですか。



坂口 凜亜 議員

大崎町のごみの分別は、種類が多くて分けるのが大変だから、ごみの分別の種類をもう少し減らしてほしいです。



大脇 莉奈 議員

益丸プールの更衣室をきれいにしてほしいです。



新田 陽彩 議員

大崎町に大きな建物をもっと作ったら、大崎町に住む人が増えると思います。



勝田 翔太 議員

アスリートトレーニングセンターの近くに3000万円で宿泊施設を作るのではなくて、小児科とか、もっと子どもたちのためにお金を使った方がよいと思います。



杉尾 奏音 議員

大崎町に高校を作ってください。



草原 駆 議員

大崎小学校に新しい遊具を作ってください。



竹安 利男三 議員

大崎小学校にいつ給水器が設置されるんですか。
小学校の体育館にクーラーをつけてください。

私の想い

みんなに与えられた楽しさ・感動



おおさき七夕さあ
実行委員会委員長
たかひろ
原口 貴大

お祭りには、子どもからご高齢の方まで幅広い年齢の方々がいらっしやいます。

どうすれば皆さまに喜んでいただける祭りになるかを考え、今年の七夕さあは昨年の反省のもと、最後をミュージック花火に、また、打ち上げ場所も変更しました。夏の風物詩と言えはやはり花火。きれいな花火をどうすれば皆さんに届けられるか、約1年間考えました。

七夕さあは、グラウンドに座って花火を見るスタイルで、ほかではなかなか見ない光景であり、花火の照準をグラウンドに合わせています。会場には、有料観覧席を設けておりませんが、全体が有料観覧席で見ているかのようにしています。

実行委員長としての目標は、準備や片付けをけがなく終えたいという思いと、祭りに来られた皆さまに感動し楽しんでいただくことでした。

子どもたちが「明日七夕さあだよ。お父さんお母さん行こうよ」と言ってくれたり、「明日

からまた頑張ろう」と思っていただけの祭りにしたいという思いで、精一杯頑張ってきました。

花火師と半年間入念な打ち合わせを重ねたことで、自分の思いに込めていただき立派な花火を打ち上げることができました。

帰り際にたくさんの方々から、「感動した。すごくきれいだった」とのお言葉をいただき頑張ってきた良かったという思いになりました。

最後に、商工会青年部をはじめ、実行委員会、商工会役員、役場職員の方々には、たくさんのご協力をいただきました。おかげで

がなく無事に祭りを終えることができ、皆さまには本当に感謝しています。

また、物価高騰で今年の祭りは予算が足りるか心配していましたが、多くの協賛金のご協力をいただき、さまざまな方々に支えられ、ここまで実行委員長を続けてこれたことに感謝申し上げます。

今後も七夕さあが、より良い方向に向かうよう精一杯頑張りますので、よろしく願いいたします。



夏の風物詩 花火



「議会だより」第173号の編集では、災害復旧、道路維持管理、総合体育館の大規模改修工事、そして補正予算について取り上げました。補正予算は、これらの事業を着実に進めるために不可欠な財政措置であり、町民生活の安心・安全を支える重要な柱です。災害復旧の早期対応や道路の維持管理は暮らしの基盤強化に直結し、体育館の改修は地域の活性化に寄与します。これからも皆様に寄り添った情報発信を心がけ、より良い大崎町の実現に向けて尽力してまいります。(草原 正和)

議会広報広聴常任委員会

- 委員長 吉原 信雄
- 副委員長 岡元 修一
- 委員 中山 美幸
- 委員 中倉 広文
- 委員 鷺東 慎一
- 委員 草原 正和

発行責任者

大崎町議会議長 富重 幸博